

生物多様性国家戦略のあゆみ

別紙 2



生物多様性条約第6条

“生物の多様性の保全及び持続可能な利用を目的とする国家的な戦略若しくは計画を作成する”

条約締結を受けて
速やかに策定

昆明・モントリオール生物多様性枠組
を踏まえ策定予定

1995年：生物多様性国家戦略 ①

2023年度：生物多様性国家戦略2023-2030 ⑥

2002年：新生物多様性国家戦略 ②

2022年
昆明・モントリオール生物多様性枠組

3つの危機^(※)を提示
自然共生社会の打ち出し

(※) 3つの危機

1. 開発など人間活動による危機
2. 自然に対する働きかけの縮小による危機
3. 人間により持ち込まれたものによる危機

2012年：生物多様性国家戦略2012-2020 ⑤

2010年 愛知目標
(戦略計画2011-2020)

2007年：第三次生物多様性国家戦略 ③

3つの危機に加え、
地球温暖化による
危機の追加

生物多様性
基本法
(2008年制定)
に基づく
法定計画に

2010年：生物多様性国家戦略2010 ④

愛知目標を踏まえた
国別目標の設定
東日本大震災の経験¹



【位置づけ】

- ✓ 新たな世界目標「**昆明・モンリオール生物多様性枠組**」に対応した戦略
- ✓ 2030年**ネイチャーポジティブ**を目指し、**生物多様性・自然資本（＝地球の持続可能性の土台・人間の安全保障の根幹）**を守り**活用**するための戦略

【ポイント】

- ✓ 生物多様性損失と気候危機の「**2つの危機**」への**統合的対応**、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという危機を踏まえた**社会の根本的変革**を強調
- ✓ **30by30目標**の達成等の取組により**健全な生態系**を確保し、自然の恵みを維持回復
- ✓ **自然資本を守り活かす社会経済活動**（自然や生態系への配慮や評価が組み込まれ、ネイチャーポジティブ（自然再興）の駆動力となる取組）の推進

生物多様性国家戦略2023-2030（案）の骨格



「2050年自然共生社会」「2030年ネイチャーポジティブ」の実現に向け、5つの基本戦略、基本戦略ごとの状態目標（あるべき姿）・行動目標（なすべき行動）、個別施策を各行動目標に紐づけることで、**戦略全体を一気通貫**で整理するとともに、進捗状況を効果的に管理

第1部 戦略

2050年ビジョン『自然と共生する社会』

2030年に向けた目標：ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現

基本戦略1 生態系の健全性の回復

状態目標（3つ）

- ・生態系の規模と質の増加
- ・種レベルでの絶滅リスク低減
- ・遺伝的多様性の維持

行動目標（6つ）

- ・30by30
 - ・自然再生
 - ・汚染、外来種対策
 - ・希少種保全
- 等

基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決（NbS）

状態目標（3つ）

- ・生態系サービス向上
- ・気候変動とのシナジー・トレードオフ緩和
- ・鳥獣被害の緩和

行動目標（5つ）

- ・自然活用地域づくり
 - ・再生可能エネルギー導入における配慮
 - ・鳥獣との軋轢緩和
- 等

基本戦略3 ネイチャーポジティブ経済の実現

状態目標（3つ）

- ・ESG投融资推進
- ・事業活動による生物多様性への配慮
- ・持続可能な農林水産業の拡大

行動目標（4つ）

- ・企業による情報開示等の促進
 - ・技術・サービス支援
 - ・有機農業の推進
- 等

基本戦略4 生活・消費活動における生物多様性の価値の認識と行動

状態目標（3つ）

- ・価値観形成
- ・消費活動における配慮
- ・保全活動への参加

行動目標（5つ）

- ・環境教育の推進
 - ・ふれあい機会の増加
 - ・行動変容
 - ・食品ロス半減
- 等

基本戦略5 生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進

状態目標（3つ）

- ・データ利活用・様々な主体の連携促進
- ・資金ギャップの改善
- ・途上国の能力構築等の推進

行動目標（5つ）

- ・基礎調査・モニタリング
 - ・データ・ツールの提供
 - ・計画策定支援
 - ・国際協力
- 等

第2部 行動計画

5つの基本戦略の下に25ある**行動目標**ごとに、関係省庁の**関連する施策**を掲載

関連施策からビジョンまで一気通貫で整理

基本戦略

状態目標

行動目標

関連施策

現行戦略との比較

生物多様性国家戦略2012-2020

第1部

生物多様性の重要性

4つの危機、5つの課題、基本的な考え方、長期目標、短期目標

国土のグランドデザイン

第2部

愛知目標達成に向けた国別目標
主要行動目標、指標

第3部

国土空間的施策
横断的・基盤的施策
東日本大震災からの復興・再生
(約700施策、50の数値目標)

本体の分量削減
関係性の明確化



施策の整理統合
目標との関係整理

基礎的情報は
本文と別枠で記載

生物多様性国家戦略2023-2030 (案)

第1部

世界と日本の現状

↓
4つの危機と危機の背景

↓
長期目標・短期目標

↓
目標達成のための基本戦略と
それに紐づく状態・行動目標

↓
実施に向けた考え方

点検・評価、各主体の役割

第2部

行動目標ごとに施策を整理
(約370施策、249の数値目標)

附属書

30by30ロードマップ、生物多様性の
重要性、国土のグランドデザイン

生物多様性国家戦略2023-2030（案）の点検・評価

昆明・モンリオール生物多様性枠組のレビューメカニズムを踏まえ、生物多様性国家戦略2023-2030（案）では、以下のとおり対応

- ✓ 国別目標である「**状態目標・行動目標**」の達成状況を測る指標を設定
- ✓ 指標や関連施策の定期的な**点検**（2年に1度を基本）や本戦略の**評価**を実施
- ✓ 必要に応じて指標や関連施策の**更新**や**追加等の見直し**を実施

国際の点検・評価のイメージ

